

第 1 章 県立病院の概要

1 現況
(1) 中央病院

H31.4.1 現在

病院名	鳥取県立中央病院	
所在地	鳥取市江津730 Tel 0857-26-2271	
開設年月日	昭和24年2月1日	
診療科目等	<p>【36科、10センター】</p> <p>総合内科、内科、呼吸器内科、腫瘍内科、心臓内科、腎臓内科 消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器・乳腺・内分泌外科、 消化器外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科 小児科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、 リハビリテーション科、皮膚科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、 救急科、歯科口腔外科、麻酔科、集中治療科、緩和ケア内科、輸血科 救命救急センター、ハイケアセンター、周産期母子センター、患者支援センター、臨床研修センター、糖尿病教育センター 健診室、血液浄化室、内視鏡室、化学療法室、画像診断室、放射線治療室 新生児集中治療室、がん相談支援センター、手術センター、脳卒中センター、心臓病センター</p>	
許可病床数	一般病床 504床 結核病床 10床 感染症病床 4床 計 518床	
入院基本料	◎急性期一般入院料1	◎結核病棟7対1入院基本料
施設基準等	<p>【基本診療料】</p> <p>◎地域歯科診療支援病院歯科初診料 ◎総合入院体制加算2 ◎救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算 ◎妊産婦緊急搬送入院加算 ◎医師事務作業補助体制加算1(15対1) ◎看護職員夜間16対1配置加算1 ◎重症者等療養環境特別加算 ◎がん拠点病院加算 ◎医療安全対策加算1、医療安全対策地域連携加算1 ◎患者サポート体制充実加算 ◎褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ◎ハイリスク分検管理加算 ◎呼吸ケアチーム加算 ◎データ提出加算2イ ◎入退院支援加算3 ◎認知症ケア加算1 ◎ハイケアユニット入院医療管理料1 ◎小児入院医療管理料4 プレイルーム加算</p> <p>【特掲診療料】</p> <p>◎心臓ペースメーカー指導管理料 ◎糖尿病合併症管理料 ◎がん患者指導管理料イ・ロ・ハ ◎糖尿病透析予防指導管理料 ◎院内トリアージ実施料 ◎外来放射線照射診療料 ◎療養・就労両立支援指導料に係る相談体制充実加算 ◎がん治療連携計画策定料 ◎排尿自立指導料 ◎肝炎インターフェロン治療計画料 ◎医療機器安全管理料1・2・歯科 ◎歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算 ◎持続血糖測定器加算 ◎遺伝学的検査 ◎検体検査管理加算(I)・(II) ◎心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 ◎時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ◎ヘッドアップティルト試験 ◎脳波検査判断料1 ◎小児食物アレルギー負荷検査 ◎センチネルリンパ節生検(単独・併用) ◎画像診断管理加算1・2 ◎CT撮影及びMRI撮影 ◎外傷性全身CT加算 ◎心臓MRI撮影加算 ◎小児鎮静下MRI撮影加算 ◎外来化学療法加算1 ◎心大血管疾患リハビリテーション料(I) ◎運動器リハビリテーション料(I) ◎がん患者リハビリテーション料 ◎抗精神病特定薬剤治療指導管理料 ◎一酸化窒素吸入療法 ◎骨髄移植(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る) ◎脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術 ◎乳がんセンチネルリンパ節加算1・2 ◎経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) ◎内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術 ◎小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) ◎腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) ◎膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)</p>	<p>◎歯科外来診療環境体制加算2 ◎臨床研修病院入院診療加算 基幹型 ◎超急性期脳卒中加算 ◎診療録管理体制加算1 ◎急性期看護補助体制加算(50対1) ◎療養環境加算 ◎無菌治療室管理加算1・2 ◎栄養サポートチーム加算 ◎感染防止対策加算1・感染防止対策地域連携加算・抗菌薬適正使用加算 ◎ハイリスク妊娠管理加算 ◎総合評価加算 ◎後発医薬品使用体制加算1 ◎入退院支援加算1・地域連携診療計画加算・入院時支援加算 ◎救命救急入院料3 ◎新生児特定集中治療室管理料2</p> <p>◎高度難聴指導管理料 ◎がん性疼痛緩和指導管理料 ◎在宅腫瘍治療電場療法指導管理料 ◎乳腺炎重症化予防ケア指導料 ◎院外リハビリテーション診療料 ◎ニコチン依存症管理料 ◎開放型病院共同指導料(1) ◎がん治療連携管理料 ◎ハイリスク妊産婦連携指導料1 ◎薬剤管理指導料 ◎歯科治療時医療管理料 ◎在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 ◎造血管腫瘍遺伝子検査 ◎HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ) ◎遺伝カウンセリング加算 ◎植込型心電図検査 ◎胎児心エコー法 ◎皮下連続式グルコース測定 ◎神経学的検査 ◎内服・点滴誘発試験 ◎CT透視下気管支鏡検査加算 ◎ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 ◎冠動脈CT撮影加算 ◎大腸CT撮影加算 ◎乳房MRI撮影加算 ◎抗悪性腫瘍剤処方管理加算 ◎無菌製剤処理料 ◎脳血管疾患等リハビリテーション料(I) ◎呼吸器リハビリテーション料(I) ◎歯科口腔リハビリテーション料2 ◎人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算1 ◎CAD/CAM冠 ◎脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 ◎緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)) ◎上顎・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) ◎経皮的冠動脈形成術 ◎食道縫合術(穿孔・損傷)(内視鏡によるもの) ◎胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) ◎結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) ◎尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) ◎膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ◎経皮的冠動脈ステント留置術 ◎磁気ナビゲーション加算 ◎ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ◎植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術 ◎両室ペースティング機能付き植え込み型除細動器移植術及び交換術 ◎ダメージコントロール手術 ◎腹腔鏡下肝切除術 ◎腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵尾部腫瘍切除術 ◎腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 ◎医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術 ◎歯周組織再生誘導手術 ◎麻酔管理料(I)・(II) ◎外来放射線治療加算 ◎1回線量増加加算 ◎病理診断管理加算2 ◎悪性腫瘍病理組織標本加算 ◎入院時食事療養(I) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術 ◎経皮的中隔心筋焼灼術 ◎両心室ペースメーカー移植術及び交換術 ◎植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術 ◎大動脈バルーンパンピング法(IABP法) ◎経皮的大動脈遮断術 ◎胆管悪性腫瘍手術 (降頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。) ◎早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 ◎輸血管理料I・輸血適正使用加算 ◎人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 ◎広範囲顎骨支持型装置埋入手術 ◎放射線治療専任加算 ◎高エネルギー放射線治療 ◎画像誘導放射線治療(IGRT) ◎口腔病理診断管理加算2 ◎クラウン・ブリッジ維持管理料 																				
敷地・施設の概要	<p>【敷地】 病院敷地 57,482㎡ ※病院敷地中、10,470㎡は次の施設用地として貸付 (鳥取療育園、鳥取看護専門学校、鳥取養護学校、千代保育所)</p> <p>【施設】</p> <table border="1" data-bbox="422 705 1308 840"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>用途</th> <th>面積</th> <th>供用開始年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>病棟、中央診療部門、中央検査部門、中央放射線部門、管理部門</td> <td>53,631㎡</td> <td>H30.12</td> </tr> <tr> <td>旧外来棟</td> <td>改修中</td> <td>7,051㎡</td> <td>H8.9</td> </tr> <tr> <td>医師公舎</td> <td>16戸</td> <td>1,035㎡</td> <td>H18.3~</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>61,717㎡</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施設名	用途	面積	供用開始年月	本館	病棟、中央診療部門、中央検査部門、中央放射線部門、管理部門	53,631㎡	H30.12	旧外来棟	改修中	7,051㎡	H8.9	医師公舎	16戸	1,035㎡	H18.3~	合 計		61,717㎡	
施設名	用途	面積	供用開始年月																			
本館	病棟、中央診療部門、中央検査部門、中央放射線部門、管理部門	53,631㎡	H30.12																			
旧外来棟	改修中	7,051㎡	H8.9																			
医師公舎	16戸	1,035㎡	H18.3~																			
合 計		61,717㎡																				
施設指定等	<ul style="list-style-type: none"> ◎臨床研修指定病院 ◎第二種感染症指定医療機関 ◎臓器提供施設 ◎日本麻酔学会等35学会認定施設(機関) ◎地域周産期母子医療センター ◎二次被ばく医療機関 ◎日本医療機能評価機構認定病院(Ver.6) 																					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎基幹災害医療センター ◎エイズ拠点病院 ◎ユニセフ赤ちゃんにやさしい病院 ◎地域がん診療連携拠点病院 ◎地域医療支援病院 ◎卒後臨床研修評価機構認定病院 																					

(2) 厚生病院

H31.4.1 現在

病院名	鳥取県立厚生病院	
所在地	倉吉市東昭和町150番地 Tel 0858-22-8181	
開設年月日	昭和38年4月1日	
診療科目等	<p>【21科】</p> <p>内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 脳神経内科, 外科, 消化器外科, 心臓血管科, 脳神経外科, 整形外科, 精神科, 小児科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, ショーン科, 放射線科, 病理診断科, 麻酔科</p>	
許可病床数	<p>一般病床 300床</p> <p>感染症病床 4床 (第一種 2床、第二種 2床)</p> <p>計 304床</p>	
入院基本料	◎急性期一般入院基本料 急性期一般入院料1	
施設基準等	<p>【基本診療料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎総合入院体制加算3 ◎超急性期脳卒中加算 ◎診療録管理体制加算1 ◎医師事務作業補助体制加算1 (20対1) ◎25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上) ◎夜間100対1急性期看護補助体制加算 ◎夜間看護体制加算 ◎看護職員夜間16対1配置加算1 ◎重症者等療養環境特別加算 ◎医療安全対策加算1 ◎医療安全対策地域連携加算1 ◎感染防止対策加算1 ◎感染防止対策地域連携加算 ◎抗菌薬適正使用支援加算 ◎患者サポート体制充実加算 ◎褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ◎ハイリスク妊娠管理加算 ◎ハイリスク分娩管理加算 ◎呼吸ケアチーム加算 ◎後発医薬品使用体制加算1 ◎データ提出加算2 ◎入退院支援加算1 ◎入院時支援加算1 ◎認知症ケア加算2 ◎精神疾患診療体制加算 ◎ハイケアユニット入院医療管理料1 ◎一類感染症患者入院医療管理料 ◎小児入院医療管理料4 ◎地域包括ケア病棟入院料2 <p>【特掲診療料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎がん性疼痛緩和指導管理料 ◎がん患者指導管理料イ ◎がん患者指導管理料ロ ◎がん患者指導管理料ハ ◎糖尿病透析予防指導管理料 ◎乳腺炎重症化予防ケア・指導料 ◎地域連携小児夜間・休日診療料1 ◎院内トリアージ実施料 ◎救急搬送看護体制加算 ◎外来放射線照射診療料 ◎ニコチン依存症管理料 ◎開放型病院共同指導料 (II) ◎がん治療連携計画策定料 ◎ハイリスク妊産婦連携指導料1 ◎肝炎インターフェロン治療計画料 ◎薬剤管理指導料 ◎検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料 ◎医療機器安全管理料1 ◎在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 ◎遠隔モニタリング加算 (在宅酸素療法指導管理料) ◎遠隔モニタリング加算 (在宅経腸経呼吸療法指導管理料) <p>【特掲診療料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定) ◎検体検査管理加算 (I) ◎検体検査管理加算 (II) ◎神経学的検査 ◎小児食物アレルギー負荷検査 ◎画像診断管理加算1 ◎画像診断管理加算2 ◎CT撮影及びMRI撮影 ◎冠動脈CT撮影加算 ◎心臓MRI撮影加算 ◎乳房MRI撮影加算 ◎小児鎮静下MRI撮影加算 ◎抗悪性腫瘍剤処方管理加算 ◎外来化学療法加算1 ◎無菌製剤処理科 ◎脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)、初期加算 ◎運動器リハビリテーション料 (I)、初期加算 ◎呼吸器リハビリテーション料 (I)、初期加算 ◎がん患者リハビリテーション料 ◎人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合1) ◎導入期加算1 ◎下肢末梢動脈疾患指導管理加算 ◎脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 ◎乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検 (併用) ◎乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独) ◎食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、及び膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) ◎ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ◎大動脈バルーンパンピング法 (IABP法) ◎バルーン閉塞下経静脈的塞栓術 ◎腹腔鏡下肝切除術 ◎腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 ◎早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 ◎胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) ◎輸血管理料I ◎輸血適正使用加算 ◎人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 ◎胃瘻造設時嚥下機能評価加算 ◎麻酔管理料 (I) ◎麻酔管理料 (II) ◎高エネルギー放射線治療 ◎保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製 ◎保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診 ◎悪性腫瘍病理組織標本加算 ◎酸素の購入価格に関する届出 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎入院時食事療養 (I) 	

敷地・施設の概要	【敷地】			
	病院敷地	19,998㎡	公舎敷地	4,453㎡
	【施設】			
	施設名	用途	面積	供用開始年月
	病棟	病棟、中央診療部門	11,362㎡	S61.5
	外来・中央診療棟	外来診療、中央検査部門、管理部門	11,433㎡	H19.5
	感染症病床	感染症病床4床(外来・中央診療棟6階)	(380㎡)	
	地域医療連携棟	地域医療連携センター、がん相談支援センター	244㎡	H24.2
	リニアック棟	放射線治療	305㎡	H25.4
	医師公舎	20戸	1,870㎡	S49.3~H11.3
その他	ポンプ室等	90㎡		
	合計	25,304㎡		
施設指定等	◎災害拠点病院(地域災害医療センター) ◎エイズ協力病院 ◎地域がん診療連携拠点病院 ◎臓器提供施設		◎第一種・第二種感染症指定医療機関 ◎臨床研修指定病院 ◎学会認定施設(23) ◎地域医療支援病院	
その他	日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.1.0)			

2 沿 革

(1)中央病院

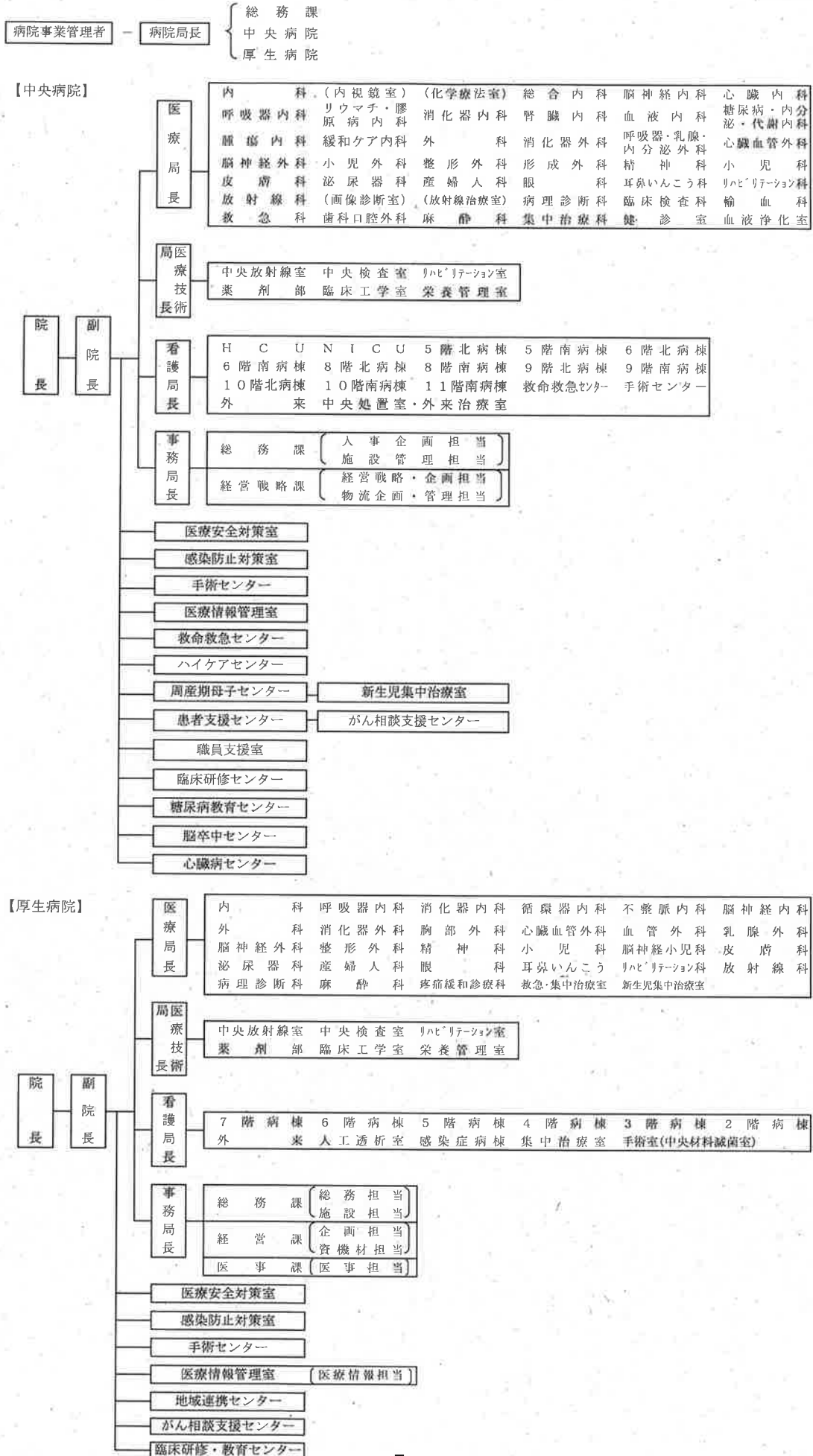
年 月 日	概 要
昭和	
24. 2. 1	日本医療団鳥取県中央病院から鳥取県に移管、鳥取県立中央病院として発足
27. 4. 17	鳥取市大火により焼失し、鳥取市本町一丁目から鳥取市吉方温泉三丁目に移転新築
50. 5. 22	鳥取市江津730番地に移転新築、診療科18科許可病床402床
50. 11. 27	腎臓移植手術を実施
51. 4. 16	整形外科系病棟（4階西病棟45床）開設
51. 6. 16	婦人科、放射線科系病棟（5階西病棟37床）開設
52. 5. 16	内科系病棟（7階東病棟48床）開設、これにより全病棟が開設する。 （ただしICUを除く。）
53. 6. 1	神経科を精神科に変更、神経内科を新設
54. 4. 1	病院組織に病歴管理室を新設、呼吸器外科・心臓血管外科を増設、診療科21科となる。
55. 3. 12	厚生大臣から臨床研修指定病院の指定を受ける。
55. 9. 13	3階西棟に救命救急センターを開設（使用許可30床、稼働15床、のち20床）
56. 4. 9	人工透析棟を建設（稼働15床）
58. 8. 8	結核病床22床を15床に変更
60. 4. 1	小児外科を増設、診療科22科となる。
62. 2. 1	医療計算事務の電算化実施
62. 5. 22	骨髄移植手術を実施
平成	
元. 10. 1	形成外科を新設、診療科23科となる。
2. 4. 1	病院組織を科制から部制に改革。部長を置く。 周産期センター、腎センター、総合検診センターを組織として設置
6. 10. 18	エイズ拠点病院に選定される。
7. 4. 1	地方公営企業法全部適用 検査科を中央検査室に変更
7. 7. 1	内科から循環器科を独立
8. 9. 24	外来棟供用開始(9. 2. 24外来棟増築工事完了)
9. 1. 1	総合検診センターを総合健診センターに、理学診療科をリハビリテーション科に、歯科を 歯科口腔外科に変更
10. 12. 8	臓器提供施設として届出
11. 5. 20	県知事から災害拠点病院（基幹災害医療センター）の指定を受ける。
12. 10. 1	救急科を新設、診療科24科となる。
12. 11. 1	県知事から第2種感染症指定医療機関の指定を受ける。（感染症病床数4床）
12. 12. 18	日本医療機能評価機構より認定を受ける。
13. 1. 4	地域医療連携室開設
13. 4. 1	総合診療科を新設、診療科25科となる。 全面的な院外処方へ移行
14. 4. 1	病院組織を部制から局制に改革（医療局、医療技術局、看護局、事務局の4局設置） 中央検査室を検査科に変更。診療科26科となる。中央手術室を設置。 臨床工学技士を配置
14. 8. 1	ユニセフ・WHOより「赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital)」に認定される。
15. 4. 1	医療安全対策室及び地域医療支援室を設置
16. 4. 1	鳥取県より禁煙施設に認定 病歴管理室を診療情報管理室へ名称変更
16. 11. 1	術後回復室（HCU）の設置
17. 11. 1	新生児集中治療室（NICU）の設置
18. 2. 1	電子カルテ導入（本稼働は4月）
18. 4. 1	診療情報管理室を医療情報管理室に名称変更
18. 9. 4	外来治療室（外来化学療法室）の設置
18. 11. 1	母と胎児の集中治療室（MFICU）の設置
19. 1. 1	結核病床15床を10床に変更
19. 1. 31	厚生労働大臣から地域がん診療連携拠点病院の指定を受ける。
19. 3. 7	県知事から地域周産期母子医療センターの認定を受ける。
19. 3. 30	心臓脳血管撮影室の増設（1室 → 2室）
19. 4. 1	医療技術局に臨床工学室を新設、医療安全対策室を医療安全・感染防止対策室へ名称変更
20. 4. 1	医療局に臨床研修支援室を新設、理学療法室をリハビリテーション室へ名称変更
20. 4. 1	DPC導入
21. 4. 1	女性職員支援室を新設、呼吸器科と消化器科を廃止。循環器科を心臓内科に、耳鼻咽喉科を耳鼻いんこう科に、検査科を病理診断科と臨床検査科に、周産期センターを周産期母子センターに、腎センターを血液浄化室に、総合健診センターを健診室に変更し、25科3センターとなる。 地域連携支援室を地域連携センターに名称変更
21. 5. 1	卒後臨床研修評価機構の認定を受ける。
21. 7. 28	県知事から地域医療支援病院の承認を受ける。
22. 8. 6	県知事と災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣に関する協定書を締結
23. 5. 20	本館耐震補強工事の完成
24. 4. 1	県知事から二次被災者医療機関の指定を受ける。
25. 4. 1	消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、呼吸器外科、糖尿病教育センターを新設。呼吸器外科を呼吸器・乳腺・内分泌外科に、臨床研修支援室を臨床研修センターに変更し、31科5センターとなる。
25. 11. 5	救急病棟を本館1階救急外来横に新設。ハイケアセンターを新設し、31科6センターとなる。
27. 4. 1	集中治療科、緩和ケア科、脳卒中センター、心臓病センターを設置
27. 11. 1	医療局に設置の中央手術室を廃止し、医療局外に手術センターを設置
28. 4. 1	総合診療科を総合内科に変更、輸血科を新設し、34科9センターとなる。
29. 4. 1	緩和ケア科を緩和ケア内科へ変更、女性職員支援室を職員支援室へ変更、地域連携センター内に設置しているがん相談支援室をがん相談支援センターへ変更、滅菌業務の外部委託に伴い、滅菌材料室を廃止。 34科10センターとなる。
30. 12. 16	鳥取市江津730番地に新病棟を新築し供用開始。許可病床518床（一般504床、結核10床、感染4床） 地域連携センター、事務局医事課等を再編し、患者支援センターを新設
31. 4. 1	腎臓内科、リウマチ・膠原病内科を新設。36科10センターとなる

(2) 厚生病院

年 月	概 要
昭和5年6月	当院の前身となる「有限責任利用組合厚生病院」開設（日本初の産業組合立病院）
38年4月	県に移管。鳥取県立厚生病院開設（内科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、理学診療科、小児科、皮膚泌尿器科、整形外科の9科を標榜。うち小児科、皮膚泌尿器科、整形外科を除く6科で診療開始）
38年12月	倉吉市下田中343番地（現・東昭和町150番地）に新築移転（許可病床200床） 一般病床200床、伝染病床34床 総合病院として上記診療科6科で診療開始
39年1月	小児科診療開始
40年4月	皮膚泌尿器科診療開始 倉吉市外9ヵ町村衛生管理組合新築の伝染病棟（40床）の診療受託
41年3月	がん治療棟完成 コバルト60使用許可
41年6月	放射線科を新設し診療科10科となる。 一般病床50床増床
47年6月	R I診療棟竣工、診療開始
48年4月	整形外科診療開始
49年4月	麻酔科を新設し診療科11科となる。
50年4月	皮膚泌尿器科を皮膚科と泌尿器科に分離し診療科12科となる。
54年3月	外来棟増築
56年4月	精神科を新設し診療科13科となる。
58年5月	倉吉市上灘土地区画整理事業の完成に伴い、所在地が倉吉市東昭和町150番地に変更
59年3月	R I診療棟、看護婦宿舎、伝染病棟等取りこわし 中部広域行政管理組合により伝染病棟新築（病床16床に変更）
61年5月	増改築工事完了 一般病床50床増床し300床で運営開始（現病棟の完成）
平成2年4月	病院組織を科制から部制に改正
4年11月	旧棟4階改修工事（総合健診センターを設置）
7年4月	地方公営企業法全部適用 検査科を中央検査室に変更
9年1月	総合健診センターを総合健診センターに、理学診療科をリハビリテーション科に変更 神経内科を新設し診療科14科となる。
9年4月	神経内科診療開始
10年7月	循環器科、心臓血管外科を新設し診療科16科となる。
11年4月	県知事から第2種感染症指定医療機関の指定を受ける（伝染病床16床→感染症病床4床）。
11年5月	県知事から災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定を受ける。
12年10月	鳥取中部ふるさと広域連合より、旧伝染病隔離病舎建物取得
13年1月	旧伝染病隔離病舎土地取得
13年4月	地域医療連携室を設置 全面的な院外処方へ移行
14年2月	日本医療機能評価機構よりVer. 3. 1の認定を受ける。
14年4月	病院組織を部制から局制に改正（医療局、医療技術局、看護局、事務局の4局設置）
15年4月	厚生労働大臣から臨床研修指定病院の指定を受ける。 医療安全対策室を設置
15年10月	臨床研修指定病院の再指定（倉吉病院、野島病院、鳥取大学医学部付属病院との病院群形成）
15年12月	厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受ける。
16年4月	医療技術局に理学療法室を設置、病歴管理室を診療情報管理室に変更 中部小児休日急患診療事業、オープンシステム開始
17年4月	脳神経外科を新設し診療科17科となる。
19年3月	日本医療機能評価機構よりVer. 5の認定を受ける。
19年4月	医療局に集中治療室、医療技術局に臨床工学室を設置、診療情報管理室を医療情報管理室に変更、事務局課名変更
19年5月	新外来・中央診療棟感染症病棟新築、電子カルテ稼働、県知事から第1種感染症指定医療機関の指定を受ける。 （1種2床、2種2床）
20年1月	地域がん診療連携拠点病院指定更新
20年4月	理学療法室をリハビリテーション室へ名称変更、医療安全対策室を医療安全・感染防止対策室に変更
20年6月	日本館解体・駐車場整備工事完了
21年3月	総合健診センター廃止
21年4月	呼吸器内科及び消化器外科を新設し診療科19科となる。 事務局医事課を医療情報管理室へ統合 助産師外来（妊婦健診）開始
22年3月	地域がん診療連携拠点病院指定更新
22年4月	消化器内科を新設し診療科20科となる。 神経内科を脳神経内科に変更
22年8月	県知事と災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣に関する協定書を締結
22年9月	中央手術センターを設置
24年2月	地域医療連携棟新築
24年3月	日本医療機能評価機構よりVer. 6の認定を受ける
24年4月	地域医療連携室を地域連携センターに改組（センター内にはがん相談支援室設置） 県知事から初期被ばく医療機関の指定を受ける。
24年5月	脳死下臓器提供施設の適用
24年12月	リアック棟完成
26年4月	病理診断科を新設し診療科21科となる。
28年4月	地域包括ケア病棟開設（43床）
29年4月	医療安全・感染防止対策室を医療安全対策室、感染防止対策室に改組
29年6月	臨床研修・教育センターを設置
30年4月	医療情報管理室から医事担当を分離し、事務局を総務課、経営課、医事課改組 地域連携センターからがん相談支援室を分離し、がん相談支援センターを設置
30年6月	鳥取県知事より地域医療支援病院の名称使用承認を受ける。

3 機 構

H31.4.1現在



4 施 設

(1) 中央病院

H31.4.1現在

区 分	許可病床	診 療 科 等
屋上		ヘリポート
11階 南病棟	42	血液内科、呼吸器内科
10階 北病棟	56	感染症病床(4床)、結核病床(10床)、呼吸器内科、総合内科、緩和ケア内科
南病棟	20	緩和ケア病棟
9階 北病棟	45	整形外科、眼科、耳鼻いんこう科
南病棟	45	総合内科
8階 北病棟	45	消化器外科、泌尿器科、口腔外科、形成外科
南病棟	45	消化器内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、皮膚科、精神科、放射線科
7階		事務局、看護局管理室、医療情報管理室、医局、研修医室 医療安全・感染防止対策室、チーム医療推進室
6階 北病棟	45	心臓内科、心臓血管外科、呼吸器・乳腺・内分泌外科
南病棟	45	脳神経内科、脳神経外科
5階 北病棟	28	小児科、小児外科
NICU	24	小児科
南病棟	36	産婦人科
4階 ICU・HCU	22	HCU、透析室、手術センター
3階		外来、中央処置室・外来治療室、中央検査室、栄養管理室、厨房、 防災センター
2階	20	救命救急病棟、救急外来、中央放射線室、内視鏡センター、薬局 検診センター、患者支援センター、食堂・売店
1階		総合受付、多目的ホール、霊安室
計	518床	

(2) 厚生病院

H31.4.1現在

区 分	許可病床	診 療 科 等
外来・中央診療棟屋上		緊急用ヘリポート
6階	4	感染症病室（4床）
5階		医療情報管理室、会議室、図書室、レストラン
4階		医局、管理部門、事務部門、医療安全対策室、感染防止対策室、臨床研修・教育センター
3階		手術センター、人工透析室、臨床工学室、麻酔科
2階		外来（精神科、小児科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科）、
1階		中央検査室、院内保育所 総合案内・受付、会計窓口、医事課、患者相談窓口、外来（内科、呼吸器内科、消化器内科、 脳神経内科、循環器内科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科）、 救急外来・中央処置室、外来治療室、内視鏡室、防災センター、売店、ATM、夜間受付
地階		霊安室、災害用備蓄倉庫、業務洗濯室
病 棟		
7階	43	地域包括ケア病棟（外科、整形外科、脳神経内科）
6階	50	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科
5階	50	整形外科、脳神経外科、脳神経内科、洗濯室
4階	50	小児科、内科、外科、消化器内科、消化器外科、耳鼻いんこう科
3階	56	外科、消化器外科（46床）、集中治療室（10床）
2階	51	産婦人科、内科、外科（乳腺疾患）、分娩室、新生児室
1階		放射線科、中央放射線室、血管造影（アンギオ）室、リハビリテーション室、 薬剤部、栄養相談室、言語聴覚室
地階		栄養管理室、調理室、コントロール室
地域医療連携棟		
2階		地域連携センター、がん相談支援センター、すずかけサロン、入退院支援センター
1階		倉吉市病児保育施設
リニアック棟		
1階		放射線治療
計	304 床	

5 看護体制

(1) 中央病院

H31.4.1現在

病棟区分	看護単位 (許可病床数)	左の内訳		入院基本料	夜勤体制		摘要
		診療科	許可病床数		準夜	深夜	
11階 南病棟	42	血液内科、呼吸器内科	42	7:1	3~4	3~4	一部三交替
10階 南病棟	20	緩和ケア内科	20	(R1.9運用開始)			
10階 北病棟	56	呼吸器内科、総合内科、緩和ケア内科、 結核病床(10)、感染症病床(4)	56	"	4	4	二交替
9階 南病棟	45	総合内科	45	(R1.11運用開始)			
9階 北病棟	45	整形外科、眼科、耳鼻いんこう科	45	"	3	3	二交替
8階 北病棟	45	消化器外科、泌尿器科、口腔外科、形成外科	45	"	3~4	3~4	一部二交替
南 "	45	消化器内科、皮膚科、放射線科、 糖尿・内分泌内科	45	"	3	3	一部二交替
6階 北病棟	45	心臓内科、心臓血管外科、 呼吸器・乳腺・内分泌外科	45	"	4	4	二交替
南 "	45	脳神経内科、脳神経外科	45	"	4	4	二交替
5階 北病棟	28	小児科、小児外科	28		3	3	一部二交替
南 "	24	新生児集中治療棟	24	3:1 6:1	3~4	3~4	一部二交替
4階 ICU・HCU	36	産婦人科	36	"	3	4	二交替
2階 救命救急 センター	22	ハイケアセンター	22	4:1	5~6	5~6	
	20	救命救急センター	20	"	4	4	
計	518		453		42~46	43~47	

H31.4.1現在

病棟区分	看護単位 (許可病床数)	左の内訳		入院基本料	夜勤体制		摘要
		診療科	許可病床数		準夜	深夜	
7階 病棟	43床	地域包括ケア病棟	43床	13:1	3人	3人	全病棟
6階 病棟	50	内科、呼吸器内科、 循環器内科、消化器内科	50	7:1	3	3	一部 二交替
5階 病棟	50	整形外科、脳神経外科 脳神経内科	50	"	3	3	
4階 病棟	50	小児科、外科、内科、 消化器内科、消化器外科 耳鼻いんこう科	50	"	3	3	
3階 病棟	46	外科、消化器外科	46	"	3	3	
	10	集中治療室	10	4:1	3	3	
2階 病棟	51	産婦人科、内科、外科(乳腺疾患)、分娩室、 新生児室、	51	7:1	4	4	
外来・中央診 療棟6階	4	感染症病室	4				
計	304		304		22	22	